



動物病院勤務 兼 動物病院コンサルティングThe Vision
動物看護師 安部 梓 さん

profile プロフィール

2008年 女子短期大学卒業
2011年～2017年 埼玉県内動物病院に7年間勤務
2017年 動物病院コンサルティングThe Vision を起業
2018年 都内動物病院に勤務

Q. 今までの経歴と現在のお仕事を教えてください。

短大を卒業してから愛犬を飼った事もきっかけとなって、動物関係の仕事に就きたいと思い、埼玉の動物病院に動物看護師として就職しました。その病院で、7年間勤めているうちにマネージャーとしての仕事を任せただけのようになり、人の育成やマネジメントなど、組織を盛り上げていくという仕事にとってもやりがいを感じるようになったんです。次第にそのような事を自分の仕事として独立してやりたいと思う気持ちが強くなり、2017年に動物病院向けの人材育成・マネジメントのコンサルタントとして働くことにしました。現在は、コンサルタントをしながら、動物病院で勤務看護師としても働いており、勤務先でコンサルタントとしての活動も行っています。

Q. コンサルになると思ったきっかけは？

きっかけはいくつかきっかけがありました。

1つは、多くの院長先生や動物看護師さんから、「どの動物病院でも人間関係で悩んでいる」という話を以前から聞いていました。院長先生とスタッフとのコミュニケーションがうまくいっていないことが、離職の理由になっているケースが多いことを知って、そうした部分のサポートをしたいと思うようになったことです。2つ目の理由として、他のスタッフがストレスなく働ける、雰囲気の良い病院を何よりも目指していましたので、そうした自身の経験が活かせると思ったことです。3つ目の理由は、以前の勤務していた病院の外部コンサルタントと、話をするうちに、外部人材として『組織を良くする』仕事をしたいと思ったこともきっかけです。

動物看護師という仕事は専門性が高い仕事ですし、獣医療補助を行うこと以外に働く道はないように思いがちですが、新しい分野を作り出すことも十分できるのではないかと思います。独立という選択肢だけでなく、例えば飼い主様向けセミナーの企画やSNSで役に立つ情報を発信すること、イベントやキャンペーン企画を定期的に行うことなど、新しい分野を病院の中で作っていくと、自分自身にとってやりがいのある働き方につながっていくと思います。

Q. 動物病院コンサルを始めて大変なことは？

7年勤めた動物病院を退職後まだ一年も経っておらず、独立して仕事を始めたのもまだ半年ぐらいなので、今でもコンサルの仕事を実際にビジネスにしていこうには苦労しています。動物病院向けのコンサルなので、院長先生がクライアントになるのですが、自分の提供できるものと院長先生達のニーズを揃えていくというのは難しく、今もまだ挑戦中ですね。院長先生の中には生産性をあげたいとか業務効率化という部分に興味がある先生は多いので、ニーズにどう応えていくかは、課題になっています。



Q. コンサルタントとして、伝えたいのはどんなことでしょうか？

動物看護師さんの個性が認められて、いきいき働いていけるようにしてあげたいです。誰にでも得意なこと、不得意なことがありますよね。それを認めてあげることで、いきいきと働けることができるのだと思います。もちろん病院としての方向性やルールはあるので、それらを守っていく事も大事ですが、個性を打ち消してすべての人が同じ働き方をするのは難しいです。個性を認めてあげることでその人の能力はもっと引き出されると思います。

Q. どんなサービスを提供しているのでしょうか？

病院の規模によって抱えている問題は、違うと思っています。
現在は勤務先の病院で、スタッフがスムーズに動けるように、病院の仕組みやルールを作っています。たとえば、人事・労務制度（スタッフの評価制度や目標設定制度）などを整えたりしています。
また、これだけたくさんの動物病院がある中で、動物看護師共通の悩みというのはやはりたくさんあります。全国の動物看護師がインターネットやリアルの場を通して繋がって、悩みを共有することができたり、これからの働き方などを考えていくコミュニティを作っていけたら良いなと考えています。
動物看護師として社会のために様々な活動をしている人は、実はたくさんいるので、そんな方達からお話を聞いて勉強できるWEBセミナーも行っていく予定です。

Q. 今後の夢は

コンサルタントとして動物看護師がより良く長く働ける環境を整えていきたいと考えています。また、その他に動物病院が「病気を治す」だけでなく、予防や知識の啓蒙に力を入れる「飼い主の学校」のような発信(セミナーやSNS)をしていくことで、飼い主さんの飼育水準をあげていきたいと思っています。
また、ソーシャルワーカーとしてどうぶつを飼う前の相談を受けることや、ネットワークを活かして保護動物の里親募集を動物病院経緯で発信してもらうなどの活動もしていきたいです。



message 女性へのメッセージ

何のために仕事をしているか？どうしてこの仕事をしているか？をいつも考えておくといいと思います。若いうちは、仕事を覚えるだけでも必死なので、このような根本的なことを考える機会が少ないかもしれませんが、自分の使命感やどうすれば社会の役にたてるのか、を考える癖を付けていけばどこでも楽しく生きていけると思います。
プライベートの時間だけ充実して幸せだという方は少ないと思います。生き方と働き方を一致させていくことで自分の本当の幸せにつながっていくのだと思います。